

法人名 特定非営利活動法人フードバンクよしみ・かわじま

事業計画書

<p>事業名</p>	<p>フードバンク事業 ※簡潔で分かりやすい名称を付けてください。</p>
<p>種類</p>	<p>(1) SDGs 推進事業 ( 人間 豊かさ 地球 平和 パートナシップ ) (2) 自立促進事業 ( 人間 豊かさ 地球 平和 パートナシップ )</p>
<p>1. 事業の目的</p>	<p>(1) これまでの活動</p> <p>吉見町と川島町の住民で、2021 年 4 月 28 日に「フードバンクよしみ・かわじま」の結成総会を開催。その後、特定非営利法人としての認可申請を行い、6 月 8 日に認可されました。</p> <p>フードドライブ（食品を集める活動）を吉見町と川島町の公共施設で 14 回行ない、家庭で使わなくなった食品や、農家の余剰米などを寄付していただきました。</p> <p>また、埼玉県衛生研究所、県立川島ひばりが丘特別支援学校、県立特別支援学校坂戸ろう学園の皆さまにも、多くの食品を提供していただきました。埼玉県信用金庫（吉見支店・川島支店）、埼玉日産営業所、三井精機様から、防災備蓄品の入れ替えに伴う食料備蓄品やレトルト食品などを提供していただきました。埼玉県のフードドライブキャンペーンに合わせて、吉見町から職員が協力した食品や生理用品を提供していただきました。これらのフードドライブなどで寄せられた食品は、4,974kg（その内、米は 2,642kg）でした。他に、「フードバンク西埼玉」様から 1,327kg の食品をおわけしていただくなど、総量は 6,814kg でした。</p> <p>フードパントリー（食品を必要な方に定めた場所で無料提供する活動）を吉見町と川島町の公共施設で隔月で 9 回行い、のべ 196 世帯に利用していただきました。フードパントリーを行わない月は、配達登録書にもとづき、必要な家庭にお届けし、41 世帯に利用していただきました。フードパントリーには、毎回、敷島製パン（パスコ）埼玉工場様から、食パン・菓子パンを提供していただき「パンをいただけるのは、本当にありがたい」など、多くの感謝の声をいただきました。また、3 月 5 日に吉見町社協が呼びかけたフードパントリーに参加しました。</p> <p>これらの活動をすすめる上で、フードパントリーやフードドライブの案内チラシを 2 町で数千枚作成しポストインでお知らせしています。その後、吉見町や川島町との連携も広がり、吉見町、川島町の広報誌に掲載していただき、利用者の増加などにつながりました。このような取り組みの中で、2021 年度末の会員は 62 人（内サポーター 21 人）となりました。</p>

	<p>(2) 活動の中で明らかになった課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① フードバンクの活動への理解をさらに広げること</li> <li>② 食品を安定的に確保すること</li> <li>③ 財政を健全化していくこと</li> </ul> <p>(3) 課題に取り組む必要性・重要性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 食品ロスの減少や経済格差の是正につながるフードバンク活動への理解をひろげることが、食品の提供や会員や支援者の増加、組織を維持・発展させていくことにつながります。案内チラシ、ホームページの充実や会報の継続、町の広報掲載の依頼などをすすめます。</li> <li>② 昨今の商品価格の高騰などにより、フードドライブなどに食品などを拠出することもむずかしくなっています。公共施設での活動に加え、スーパーやコンビニの店舗などでのフードドライブや「常設箱」の設置などをお願いします。</li> <li>③ 現在の財政では、商品の移動や配達に必要なガソリン代の支給や万が一に備えるボランティアの保険加入などもできず、ボランティアの善意に依存している状態です。継続可能な活動にしていくためにも、会員や支援者を増加し、財政をさらに健全な状態にしていくことが必要になっています。</li> </ul>
<p>2. 事業の内容</p>	<p>(1) フードドライブなどで、食品を確保する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 趣旨：食品を必要とする方にお渡しするために、企業や家庭・農家などで、不要になった食品を寄付していただく活動。 <ul style="list-style-type: none"> <li>(イ) 企業などに、食品をいれていただく蓋つきのケースを常時設置していただき、定期的にフードバンクが回収する。</li> <li>(ロ) 企業やスーパー、イベント会場などで、食品を寄付していただくコーナーを設置し、不要になった商品を持ち寄っていただき、フードバンクが持ち帰る。また、フードバンク西埼玉に寄せられた食品などを分けていただく。</li> </ul> </li> <li>② 実施時期：吉見町、川島町で毎月、数回実施</li> <li>③ 対象者：企業・事業者の職員、住民（各家庭、農家など）</li> <li>④ 場所：企業や事業者の施設、公共施設、スーパー・コンビニの店頭など。</li> <li>⑤ 参加見込み人数：各回 10～20 人</li> <li>⑥ 外部の協力者・団体など：吉見町、川島町、フードバンク西埼玉、敷島製パン埼玉工場、県立川島ひばりが丘特別支援学校、県立特別支援学校坂戸ろう学園、埼玉県信用金庫（吉見、川島支店）、埼玉県衛生研究所と公益財団法人「健康づくり事業団」、ヤオコー川島店、ファミリーマート川島町正直店、小池農園など。</li> </ul>

(2) フードパントリーなどで、食品をお渡しする事業

- ① 趣旨: フードバンクよしみ・かわじまで確保した食品などを、必要とする方に取りに来ていただく(フードパントリー)ことと、配達することを隔月で、吉見町と川島町で交互に実施
- ② 実施時期: 毎月、1回交互に実施
- ③ 対象者: 食品を必要とする家庭や、社協から依頼があった家庭
- ④ 場所: 吉見町は「西部ふれあいセンター」、川島町は「コミュニティーセンター」
- ⑤ 参加見込み人数: 各回 30~50 人
- ⑥ 外部の協力者・団体など: 吉見町、川島町、学童保育(川島町)、子ども食堂「しいの木ひろば」(吉見町)、いくつかの地域の民生委員など

これらの事業にたいして、上記の協力者に加え、吉見町と川島町では、町の広報誌への掲載、会場の無料使用などの協力をいただいています。

3. 実施計画

(1) フードドライブ(食品寄付を受取る活動)

(2) フードパントリー(食品無料配布活動)

○スケジュール

事業は毎月実施しています。フードドライブなどで食品を確保し、フードパントリーや配達で、食品などをお渡しするまでが、ひとつのサイクルになっています。

時期	
7月	1 週: フードバンク西埼玉から商品提供、フードドライブ協力事業者からの食品回収 2 週: 宣伝チラシポストイン、フードドライブ協力事業者からの食品回収 3 週: フードバンク西埼玉から商品提供、フードドライブ実施(協力事業者、公共施設) フードドライブ協力事業者からの食品回収 4~5 週: 米の精米や食品などのセット、フードパントリー実施(敷島製パン様から商品提供)、フードドライブ協力事業者からの食品回収。 吉見町、川島町への報告と広報依頼。
8月以降	ほぼ同様のサイクルで実施します。

○広報計画

吉見町と川島町の広報誌、フードバンクよしみ・かわじまホームページ、

案内チラシのポストイン(吉見町、川島町合計 4~5 千枚)

4. 実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 統括責任者 佐藤利昭</li> <li>(2) 連絡責任者 室田定子</li> <li>(3) 現場責任者 五十嵐康二</li> <li>(4) 経理担当者 五十嵐セツ子</li> </ul>
5. 事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 企業の余剰食品や家庭で使われない食品を毎月、約900kg（2021年10月～2022年3月の月平均取扱量）程度回収してきました。今年度も、同程度の食品の回収が見込まれます。食品の余剰化やゴミを減らし、環境負荷につながる食品ロスを減少させることができます。</li> <li>(2) 食品の確保に困っている子どもや家庭、福祉施設などに食品をお届けすることによって、子どもの成長や家計の節約に貢献できます。</li> <li>(3) 会員や支援者を拡大し、ボランティアの意識や機会を増やします。助け合いの気持ちが広がるまちづくりに役立ちます。</li> </ul>